

(公社)日本地すべり学会 新潟支部
平成 29 年度第 9 回幹事会

日 時：平成 30 年 4 月 19 日（木）18:30～20:30

場 所：新潟大学災害・復興科学研究所 1 階 プレゼンテーションルーム

出席者：福岡，渡部（直），稲葉，茂木，大藤，佐藤（壽），渡部（哲），金澤，大塚，坂井，徳間，
福元，柚木脇，五十嵐，藤ノ木，佐藤（博），石井，権田，古宇田，渡邊（衛）（20 名）

記 録：佐藤（博）

1. 各部会の進行状況

①総務（稲葉幹事長）

- ・事業計画部会（4/16）への出席報告（3 月幹事会内容を報告した）。
- ・会誌 5 月号の掲載内容は 3 月号内容の再掲となるが，現地見学会の案内はより詳しい内容としたい。
- ・建設コンサルタンツ協会の CPD 認証の申請をしたい（長野大会では申請した）。
- ・後援，協賛依頼（新潟県への講演依頼を確認する）。
- ・（急ぎではないが）スタッフマニュアルの作成を進める。
- ・大会までの時間を考慮すると各担当部門独自の準備作業が必要である。情報共有の観点から，メーリングリストを活用する（メーリングリストの準備を進める→4/20 構築済）。

②県民講演会（渡部副支部長）

- ・伊藤先生（農学部農業経済）の演題を確認する。週明けにはホームページに掲載する。
- ・当日の司会は西井幹事に依頼する。

③特別講演（渡部副支部長）

- ・先月報告の通り確定済み。

④受付（権田幹事，別途資料あり）

- ・申込みしシステムが 5/8 から稼働。
- ・参加申し込みシステムの準備状況について報告。
- ・当日の受付窓口人数割りについて報告。

⑤研究発表会（渡部副幹事長）

- ・スタッフ，35 名程度確保されている。
- ・発表する学生に兼務してもらってはどうかとの意見があった。
- ・次回目途に作業計画を整理する。

⑥意見交換会（藤ノ木幹事，別途資料あり）

- ・長野大会の例を参考に式次第の検討を行った。
- ・司会は民間各社のなかで検討（→4/20 村尾技建本田さんが快諾）。
- ・開催県の挨拶，新潟市長の意向を確認する（キタックさんのルートで）。
- ・古町芸妓さんの踊り時間はやや短めにする。
- ・会場クロークとして会議室の利用は難しい（17:00 までしか借りていないため），4 階クロークの使用可否，条件等確認する。

⑦新技術紹介（山下幹事欠席につき，稲葉幹事長より報告）

- ・「4/16より受付開始」したとの連絡あり。
- ・申込み先着順で受け付け，展示位置は平面図を参照し先着順に選定する。

⑧広告（山下幹事欠席につき，稲葉幹事長より報告）

- ・新技術と同様に「4/16より受付開始」したとの連絡あり。

⑨現地見学（渡部副支部長）

- ・旅行会社から各コースの見積を徴収。
- ・Cコースの定員を10人→15人に変更（収支バランス等配慮のため）。
- ・現地見学に関わる会誌5月号の掲載内容は，3月とあまり変わらない可能性あり（下見等が間に合わない）。
- ・各コースの担当者を決め，その後の準備作業を引き継ぐ。見学サイトの担当社(者)からの人選が望ましい。
 - Aコース（滝坂）：応用地質，興和，阿賀野川河川事務所
 - Bコース（糸魚川）：国土防災技術，新協地質，明治コンサルタント
 - Cコース（松之山）：渡部副支部長

⑩広報（福岡支部長）

- ・長野大会では6月の本部総会時に試作品が配布されており，当大会も早めの作成が必要である。県民講演会と学会発表用の2種類を想定しているが，まだキャッチフレーズが決まっていない。
- ・支部HPによる各種案内を行う。
- ・本部サーバーへの組み込み（あるいはリンク）を検討する。

⑪会計（稲葉幹事長）

- ・H29年度決算を本部へ報告済。5/8の申込みシステム稼働後，本格的な資金の移動が始まる。

⑫支部出版物DVD（佐藤副幹事長）

- ・実施計画は理事会への申請書提出が必要である。
- ・作業状況について報告。
 - 過去10年分程度は電子データをpdf化可能。それ以前のは文久堂さんに依頼した。
 - 昭和60年以前は欠落している巻があり，完全ではないため「資料集」として安価に作成したい。
 - 折込ページの有無，全体量等が未詳であるため，見積徴取は未完（6月理事会に報告するため6/15目途に金額確定させたい）。
 - 次回幹事会で，ラベル，包装などを協議。

⑬特別セッション（稲葉幹事長）

- ・WLF5関連「英語特別セッション」は一般セッションに編入する。
- ・「線状降水帯による斜面災害」のコンビナーに，山梨大後藤先生にも加わっていただく（渡部副支部長から依頼→4/20快諾）他，2～3名（土木研究所・国総研・森林総研・防災研など）依頼したい。
- ・今後，HP，メーリングリストでアナウンスを行う。

2. 来年度支部シンポジウム準備状況

- ・プログラム作成を急ぐ（決定後に CPD 認定行事として申請を行う）。
- ・資料集（230 部印刷予定）のカラー化に関し、既往同様の表紙とすると例年 15 万円→20 万円となる（表紙の紙が特注のため、経費と紙の安定的確保の観点から難しい）。
- ・表紙を見学会等と同様とすると 17 万円程度に収まることから、表紙用紙変更のうえカラー化する。その際、表紙と背表紙にも色を付け、保管・整理を容易にする。委細は佐藤副幹事長に一任する。
- ・会場関係と弁当手配は井藤幹事（欠席）が進めている。弁当は昨年並み 40 食を想定。
- ・参加申込書に弁当要否の記載欄を追加する（→H20 年度まで遡って開催要領・申込書を確認したところ、いずれも弁当に関しての記述・申込欄の設定はなかった。よって、これまでどおり設定なしとす）。

3. 支部総会

- ・議案書（案）を確認し、内容について了承した。

4. 支部 HP の更新

- ・ホームページ開設から 12 年が経過した。当初は 3～5 年での更新を想定していたが、実施されずに今に至っている。
- ・現在、リニューアルする業者をあたっているが、一括更新とすると経費面で大きな支出となる（現在 100 頁の内容で、約 100 万円程度と見込まれる）。そのため、ページ数を減らしたい。
- ・中越地震、中越沖地震に関し紙面を多く使っており、これを減らしたい。
- ・古いデータはアーカイブとして残しておいてはとの意見あり。
- ・バックナンバーの通販サイト、電子データとしてダウンロードする方法もある。
- ・発行後 2～3 年は紙ベースの販売を行い、その後は段階的にアーカイブに移動して、フリーでダウンロードすることも検討中。
- ・現在支部は独自でプロバイダーと契約しているが、本部の「支部スペース」に移行しても良いのでは（→現行機能が本部サーバーで可能か本部に確認する）。
- ・更新時期としては当初全国大会時と考えていたが、2019 年 4 月頃の見込みである。

5. その他

- ・地すべり災害記録 CD は支部総会時に発行予定で作業を進めている。

次回日時

- ・平成 30 年 5 月 14 日（月）18:30～
場所：新潟大学災害・復興科学研究所 1 階 プレゼンテーションルーム
議題：研究発表会・支部シンポジウムの準備状況確認、他